

令和2年度 千早赤阪村立学校 評価報告書

学校名（千早小吹台小学校）

校長名（近藤和浩）

1. 教育目標

「やさしさと笑顔いっぱいの学校を目指して」

「豊かな心」「確かな学力」「健康な身体」の育成

めざす学校像

- 楽しい学校
- 明るい学校
- 開かれた学校

めざす子ども像

- 人の気持ちがわかる子
- すすんで学ぶ子
- 元気でたくましい子

めざす教師像

- 人権意識を大切にする教師
- 授業を工夫改善し研修に努める教師
- チームを意識し緊密に連携協力する教師

2. 経営方針

○こどもたちの自尊感情をはぐくむ

自分に自信を持ち、進んで学び活躍する子どもたちを育むために、自尊感情を高める。

そのために、子どもたちの良い点を見つけるように心がけ、ほめる指導を進めていく。

達成目標…児童アンケートを実施し、自尊感情が高い数値が120%(2割増)になることを目標とする。

○考える授業を展開する

「思考・判断・表現」を高める授業を行っていく。そのために、一斉教授型の授業ではなく、課題や疑問を子どもたちに提示したり問いかけたりして、しっかりと考えさせる授業を展開する。

達成目標…年度末に年度当初よりも120%(2割増)になることを授業観察の考察とともに判断する。

○学校全体で学校評価を共有しPDCAサイクルを確立する

学校評価と学校教育計画をつなぎ、全教職員で目標を掲げ自己評価を行い公表していく。

3. 本年度の重点目標、具体的な取り組み内容、自己評価、次年度に向けての改善策

		I 学力向上と教育力の充実
P	重点目標	<p>(1) 学習習慣の定着と言語能力の育成, (2) 外国語教育と異文化理解 「思いを伝え合う力の育成」 ～友だちとの対話を通して、他者理解を深め自分の考えをわかりやすく伝える～ ○外国語活動…指導方法の工夫と授業づくり・評価方法の検討 ○算数 …分割習熟度別授業の効果的な指導法について ○学力向上 …読書の推進や自主学習ノートの定着、 授業スタンダードを意識した授業の実施</p>
D	具体的な取り組み内容	<p>(1) ①「学習用具のきまり」プリントによる学習姿勢を育む取り組み ②伝える力の育成として音読発表会の実施(11/15) ③効果的な習熟度別授業の実施を3年生以上で実施 研究授業 11/27 3年算数「三角形と角」干場, 西川 ④読書活動の充実としてホームリーディング活動(11/10～27)の実施 学校図書館司書との連携、委員会活動(ブックトーク等)、朝読書活動の実施</p> <p>(2) ①英語主任を中心に系統立てた学習内容の実施及び記録 ②研究授業および校内研修として評価の研修 研究授業 10/26 6年英語「What sport do you like?」(lesson8)阪上 研究授業 2/1 1年外国語活動「(未定)」浅岡 指導講評 菅正隆(大阪樟蔭女子大学教授) ③異文化理解 ALTによる small talk, オーストラリアの小学校との TV 会議の実施</p>
C	自己評価／成果と課題	<p>(1) ①低学年では定着しつつあるが、高学年では継続的に指導する必要がある。 ②大勢の人の前でも臆せず、大きな声で伝えることができるようになった。 ③レディネステストを実施。コース選択をすることで、一人ひとりの学習意欲が高まった。 ④ホームリーディング活動をすることで、自宅での読書時間が増え、読書習慣の定着につながった。 朝読書活動では、読書意欲は高まってきているが、高学年では継続的に指導する必要がある。</p> <p>(2) ①カリキュラムが整いつつある。外国語ワーキングの在り方を検討。 ②講師の先生の評価が高かった。外部へ発信することができた。 3つの柱と5領域ごとの評価の在り方を確認できた。 ③積極的にクラスルームイングリッシュを使う場面が増えた。 TV 会議の実施学年、回数の検討。</p>
A	次年度に向けて	<p>(1) ①4月に「学習用具のきまり」プリントを家庭に配布し、学期始めには各学級で学習用具の確認をする。 ②音読発表会を行った成果はあったが、実施について状況を見極めて判断する。 ③コース分けすることで学習意欲は高まったが、コース選択方法については検討する。 ④ホームリーディング活動は、読みを深めるために実施期間を延ばす。朝読書活動も継続する。</p> <p>(2) ①各学年のカリキュラムが整いつつあるので、外国語ワーキングを今後も存続していくのか検討する。 ②外国語科・外国語活動の指導方法や評価の在り方について、引き継いでいく。 ③授業での small talk や朝の職員向けの ALT による small talk は、継続する。TV 会議は、英語が通じた喜びを感じ、話すことの楽しさが増すように、低学年の回数を増やす。</p>

3. 本年度の重点目標、具体的な取り組み内容、自己評価、次年度に向けての改善策

		Ⅱ 豊かでたくましい人間性の育成
P	重点目標	(2) 道徳教育, (4) 体力・運動能力, (5) 食育 ○体育…体育活動を通して、運動の楽しさや喜びに触れさせ、運動好きな子どもを育成する。 ○給食…給食を通して豊かな心情を育て、正しい食生活のあり方を身に付けさせる。 ○保健…自分の心や体をよく知り、大切に守り育てる子どもの育成に努める。 ○道徳…自己の生き方についての考え方を深める授業づくり(学力向上・研修部)
D	具体的な取り組み内容	○体育 ① 様々な体力の向上のため、スポーツテストを実施 ② 実技ではなく、スライドショーや動画による着衣水泳の学習を実施 ③ 日頃の取り組みの発表の場、またつくり上げていく楽しさや達成感を味わわせるために感染症対策をして運動会を実施 ④ 体力づくりのため、かけあし運動・マラソン大会、なわとび教室を実施 ○給食 ⑤ 感染予防に配慮し、手洗い消毒の徹底、配膳・喫食の工夫を行った ⑥ 実際の給食を題材に、地場産物や栄養、魚の上手な食べ方等について指導を行った ⑦ 教科と関連し、「やさい」「朝ごはん」等について食育を行った ⑧ バイキング給食は弁当形式で実施した ○保健 ⑨ コロナ対応:児童・保護者が毎日の体調チェックシートの記入し児童自身の体調をふり返る手洗いやアルコール消毒、換気の意義を理解し、習慣化する ⑩ 熱中症予防:掲示している暑さ指数の表を見て、どのように行動すべきか考える ⑪ 職員の救命救急講習:より実践的な講習を行う ○道徳 ⑫ 他教科との関連を図る ⑬ 個人用道徳ファイル等を活かした評価の実施 ⑭ ワークシートや指導案等のデータ・資料の共有
C	自己評価／成果と課題	① 今年度コロナの関係で各学年ごとに実施。時間調整がしやすかった。 ② 実技の有無にかかわらず来年度以降も使用可能。 ③ 半日開催ではあったが予定通り実施。PTA 種目については精選していく。 ④ かけあし運動・マラソン大会、なわとび教室の実施。 ⑤ 手洗い消毒、配膳・喫食の工夫。引き続き行う。 ⑥ 給食指導の実施。来年度も学年ごとに実施予定。 ⑦ 食育の実施。来年度も実施予定。 ⑧ ランチボックスの形で実施。子どもたちからは好評。 ⑨ 体調チェックシート、手洗い消毒、換気の呼びかけ。引き続き行う。 ⑩ 毎朝計測し玄関に掲示。引き続き行う。 ⑪ 健康教育主催で実施。水泳が始まる前には毎年実施できるようにしたい。
A	次年度に向けて	○スポーツテスト…3～6年の合同開催か学年ごとに実施するか検討 ○配膳…来年度、牛乳瓶は廃止され紙パックになる(飲み残しや未開封、パックの返却については提案されているが、新年度確認が必要) ○体調チェックシート…来年度も継続(手洗い消毒、換気の呼びかけも引き続き行う) ○救命救急講習…講師を招いて行うことができない場合は健康教育で実施する

3. 本年度の重点目標、具体的な取り組み内容、自己評価、次年度に向けての改善策

		Ⅲ 安心安全な学校づくりの推進
P	重点目標	<p>(1)いじめ・虐待防止, (3)防災教育</p> <p>生活指導目標「全校一貫した指導により、一人ひとりに基本的な生活習慣を身に着けさせる」 「自分で考え、自主的・意欲的に行動できる力をつける」 「お互いの人格と人権を尊重しながら望ましい集団を育成する」</p> <p>重点目標「全校一貫した指導により一人ひとりに基本的な生活習慣を身につけさせ、一人ひとりを尊重し、ともに高めあえる集団作りを目指す」</p>
D	具体的な取り組み内容	<p>(1)-1 「こころとからだ、くらしのアンケート」を月1回行い、些細な変化を見逃さないようにする。</p> <p>-2 有事の際には、「いじめ・不登校対策委員会」を開き、チームで対応、協議する。</p> <p>-3 「気になる児童」については、経過観察とともに、職員会議で全体に情報共有する。</p> <p>-4 委員会活動、なかよし班活動(週1回のなかよし班掃除、月1回のなかよし班遊びなど)、クラブ活動では、高学年を中心に自主的に活動する。</p> <p>(3)-1 火災や地震の避難訓練を行う。</p> <p>-2 学期に一度、緊急避難訓練を行う。</p> <p>-3 1月の防災週間には、各学年で、防災教育を行う。</p>
C	自己評価／成果と課題	<p>(1)-1 三部会前に実施週間を設け、低・中・高で共有後、三部会で報告……◎</p> <p>-2 今年度、この会を開くことはなかったが、体制は整えている……………○</p> <p>-3 職員会議や職員朝礼で、全体に共有している……………◎</p> <p>-4 高学年を中心に積極的に取り組んでいる……………◎</p> <p>(3)-1 一学期は行えなかったが、二学期以降は計画通り実施できた……………○</p> <p>-2 一、二学期は行えず、三学期に行った……………○</p> <p>-3 各学年で実施済……………◎</p>
A	次年度に向けて	<p>(1)引き続き、未然防止に取り組み、有事の際には迅速なチームでの対応を行える体制を作る。</p> <p>(3)今年度は、1学期のスタートが遅く、計画通りに進めることが難しかったが、次年度は、年間を通して防災意識を高められるよう、計画的に取り組む。</p>

3. 本年度の重点目標、具体的な取り組み内容、自己評価、次年度に向けての改善策

		IV 学校及び教職員の資質向上
P	重点目標	<p>(1) 学校運営・評価, (2) 教職員研修の充実, (3) 働き方改革, (4) 地域学校協働活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価を教職員全体で共通理解し、PDCA の形で目標を立て改善していく方法を教職員が身に着けることで、よりよい学校運営の礎を作る。 ・村内外の研修に積極的に参加することを奨励し、教職員の授業力向上を目指す。 ・校務支援システムの活用により、効率化を図り業務改善を目指す。 ・地域支援本部との協働を進め、地域とともにある学校づくりを目指す。
D	具体的な取り組み内容	<p>(1) 学校評価の取り組み Pを学校教育計画の各部会の内容より記入。確認 Dについて、各部会で話し合い、12月24日までに記入 C,Aについて、各部会で話し合い、2月24日までに記入 その後、次年度へとつなげていく。</p> <p>(2) 教職員研修について 今年度は大阪府教育センター研修も中止や Web 開催が多くなり例年と単純に比較できないが、年度末に研修参加数を延べ数で記録し、次年度以降につなげる。</p> <p>(3) 働き方改革について 校務支援システムの活用による効率化について、今後教職員にどのようなことが実際に改善されたと感じるか等について意見を集めて業務改善を図る。</p> <p>(4) 地域学校協働活動について 学校支援地域本部の打合せを1~2か月に1度の割合で開催し、クラブ活動や図工、音楽、家庭科といった実技教科の支援ボランティアを募り、教育活動に参加していただいた。</p>
C	自己評価／成果と課題	<p>(1) 学校評価について 本学校評価について、「I 学力向上と教育力の充実」を学力向上・研修部に、「II 豊かなたくましい人間性の育成」を生徒指導部に、「III 安心安全な学校づくりの推進」を健康教育部にそれぞれ担当して PDCA を部会で検討することを通じて、教職員全体で学校評価に携わることができた。</p> <p>(2) 教職員研修について Web 研修が多くなり、夏季休業中の研修も Web 開催や中止、延期になったものなど今年度はコロナ禍の影響で、学校外部での研修は受けにくい状況であった。</p> <p>(3) 働き方改革について 校務支援システムが業務効率に貢献しているかどうかはまだよくわからない。また、通知表はじめ学習指導要録等新しいシステムになり、不具合もところどころ出たことで、まだまだ働き方改革には役立つシステムになりえていない。</p> <p>(4) 地域学校協働活動について 学校支援地域本部の打合せをしっかりと行いながら、教育活動に参加していただくことができた。ただし、緊急事態宣言下では活動を自粛した。</p>
A	次年度に向けて	<p>全教職員参加の下で実施した「学校評価」については、PDCA のAをしっかり次年度に引き継ぐとともに、次年度以降も三部会を通じて重点目標を立てて学校評価に入れていきたい。</p> <p>学校外部の教職員研修について積極的な参加を促し、授業力や指導力の向上とともに、学校力向上に向けて前向きな意識を持つように、教職員の意識改革にもつなげていきたい。</p> <p>学校支援地域本部との連携は来年度以降も継続し、様々な教育活動にボランティア参加していただけるようにしていく。</p>

4. 教育自己評価

【教職員による評価】

- ・年間を通じて欠席者がいない日が多かった。教職員が連携して子どもたちに関わられた成果だと感じる。
- ・靴のかかとを踏んでいる児童が目立った。教職員全体で声掛けしていく必要がある。
- ・校内研の前に、必ず事前研はあったほうが良いという意見があり、今後はどの教科でも事前研を行うことになった。
来年度は、英語2回・道徳1回研究授業の予定。(増えるのは可。)
- ・チャイムをしっかりと守っていくことを教職員間で共通理解した。授業者は、チャイムで授業が開始できるようにする。
児童は、チャイムが鳴ったらすばやく教室に戻る。
- ・クラブ支援に来ていただいた方から、いろんなアイデアもいただけるので、児童の活動の幅も広がりありがたい。
次年度もクラブ支援や教科指導の支援をお願いしていく。
- ・お別れ遠足がなくなったので、茶話会はもう少しあとに延ばしてもいいのではないかと意見が出て、次年度の茶話会お別れ集会を今年度よりも少し遅らせる。お別れ集会2月28日(月)、茶話会を2月25日(金)で実施予定。
- ・2学期は参観・運動会・音読発表会(日曜参観)・マラソン大会と毎月行事があるので、参観を減らしてもいいのではないかと意見が出て話し合った。その結果、基本的に月1回保護者が来校できるよう行事を計画しており、来年度からはPTA実行委員会を参観日に執り行う関係もあり、9月の参観日は必要。2学期のスタートから余裕が持てるよう、次年度は9月17日(金)に全学年一斉に行う。(学級事業は次年度からなくなる。)
- ・学年の教室配置について、トイレ横は1・2年生に戻してはどうかという意見が出た。
入学してまもない1年生や低学年をみんなでかかわり見守りやすいところがいいという意見とともに、トイレに間に合わず、おもしろが何度もあったことから、以前の並びに戻すこととなった。
2年前と同様、西側から4年⇒3年⇒PC⇒図書⇒トイレ⇒1年⇒2年⇒5年⇒6年の順。
- ・通学帽について、男女同じものにするほうが望ましいのではないかと意見が出て話し合いを行った。
今後は、男女別ではなく、黄色の帽子2種類のどちらを選んでもかまわないこととする。
しばらくは選べる方式を採用。今後課題があればその都度検討することとした。
- ・今年度コース変更があったマラソン大会について、以前のように低・中・高で1周、2周、3週としたほうが良いのではないかと意見を受け、それぞれ意見を出して話し合った。
協議した結果、すぐには結論が出ず、後日アンケートを取ったところ、昨年度までのコースに戻すという意見が多かったため、来年度はコースを戻すこととなった。
- ・高学年の女子の言葉遣いが気になるという意見がある反面、朝元気よく「おはようございます!」と言える子が増えてきたという意見もあった。あいさつも、声掛けを重ねて、できる児童が増えてきたので、場に応じた話し方ができるよう、その都度、声掛けをしていくということになった。
- ・なかよし班そうじの後の反省会で、6年生から「今日頑張っていた人」を発表するなどのふりかえりをしてはどうかという意見があった。よい提案なので、来年から行っていく。

【外部アンケート等】

- ・連絡等があるとき、適切に一斉メールが使用されていて良いと思います。
- ・通知表は前のほうが良かったです。
- ・通学バスの帰りの本数を増やして、学校で遊べる時間を作ってあげて欲しい。
- ・いかんせん恥ずかしがり屋でマイペースな子なので、先生方にはご迷惑をおかけしてばかりで申し訳ないです。
- ・"千早小吹台小学校は児童の人数が少ない分、先生方と生徒だけでなく、保護者とも密な関係が作れて、非常に安心して通わせられる学校だと感じています。
- ・実家の母が運動会に参加した時にも、卒業生もたくさん参加していたり、小さな学校だけれど、町のみんなが集まる運動会でとても良いね。と話しておりました。
- ・コロナ禍で様々な難しい問題がある中、工夫して子供達が楽しく登校できる様考えて下さっている事にも日々感謝しております。
- ・うちの子はこちらから尋ねないと、あまり学校での出来事を話さないのもう少し話す時間を設けたいとこのアンケートから感じました。これからもどうぞよろしくお願い致します。

5. 学校関係者評価

学校評議員会議より

【1学期】

- ・学校評価を全員で取り組むことで、教職員が重点目標について意識を持って取り組めるのでとてもいいと思う。
- ・PTA の在り方を時代に合わせて変化していくことはよいことだと思う。
- ・PTA について非常によくわかった。改めていろいろな方にお世話になっているとわかった。
- ・学習参観を実施していただいて、子供らの様子を見られて安心したという声があった。
- ・臨時休校中、情報発信をしっかりといただけたので、不安になることはなかった。
- ・課題についても毎週出してくれてすることがきちんとあってよかった。

【2学期】

- ・小規模校なので今回の運動会のようにコンパクトな内容でよいと思う。
- ・救命救急の研修は、AED 心臓マッサージの訓練以外に緊急時対応の訓練をしてみてもよいのではないか。
- ・少人数の学校で色々な行事ができて本当に良かった。
- ・修学旅行の陶芸がとても楽しかったようだ。
- ・日曜参観も、音読発表会だけではなく、教室の参観も見られてよかった。
- ・地域支援本部の取り組みはすごくいいと思う。
- ・放課後勉強室も（主人は）とても楽しいと言っている。
- ・近隣で行事を中止する学校がある中、たくさんの学校行事を開催していただいてとてもよかった。
- ・運動会の観覧は祖父母も見に来られて喜んでた。
- ・いじめ等把握のためのアンケートを定期的にとってくれているのはすごく良い。
- ・虐待等にも過敏になりすぎない程度に地域でかかわっていく必要があると感じる。
- ・懇談会以外でも保護者が学校に相談などできる場があるといいなと思う。

【3学期】

- ・マラソン大会のコース変更について、どちらにさせていただいてもよいと思う。子どもたちの目線でしっかり考えてくださっていることが分かった。
- ・三学期の最後の参観で発表会が重なり、隣り合う教室では声が響いて聴きとりにくいところがあった。可能であれば、（実施する）教室を離していただければと感じた。
- ・低学年の教室がトイレの横になることはよいと思う。
- ・先生方の研修の説明で、どのような研修をされているのかよく分かった。
- ・支援が必要な子どもたちはいろいろな課題があるので、支援の先生と学級担任の先生と情報共有を密にしていってほしい。
- ・放課後デイ利用保護者の相談を受けるが、学校に相談したらよいと言っている。
- ・毎月のアンケート以外で学期に一回でも子どもらについて先生方が点検できるようにしてはどうか。
- ・少人数で目が行き届くので、村の学校で本当に良かったと思う。

6. 第三者評価

学校評議員会議以外の第三者評価の会議等は実施していない。